

事業ハイライト

自己株式の取得と消却

資本効率の向上及び株主還元強化を図るため、160万株及び56億円を上限とする自己株式の買付を決議しました。同時に3,202,599株の自己株式の消却を決議しました。同買付は2011年11月30日まで行われ、上限である160万株(約55億円)を取得しました。



中国「澳徳バックス 上海曹安公路店」オープン

上海にピットサービスを強化した直営店をオープンしました。店舗コンセプトは「商品・設備・技術・環境面におけるサービスNo.1」。同店は、洗車やメンテナンスなどピットサービスを強化しており、敷地面積の約80%をピットエリアとしています。14台のピットスペースのうち、洗車スペースを2レーン用意し、洗車やオイル交換、タイヤ交換、アライメント調整などの基本的なサービスメニューをはじめ、ボディーコーティング、ポリマー加工など、様々なピットサービスを提供します。



「タイヤのことならオートバックス」新テレビコマーシャル放映開始

オートバックスのタイヤ販売の信頼・安心感を訴求する新テレビコマーシャルの放映を開始しました。当グループの看板商品の一つである「タイヤ」を切り口に、ドライバーの皆様へ「タイヤのことならオートバックス」と、オートバックス店舗の魅力と価値をお伝えしています。

2011

4

5

6

7

8

9

10

新コンセプトの中古カー用品販売・買取店オープン

節約・エコ志向によるリサイクル・リユースへのニーズの高まりに対応し、幅広い層のお客様にご来店いただけるように、新コンセプトの中古カー用品販売・買取店をオープンしました。新コンセプトの「オートバックスセコハン市場」では、かつてのモータースポーツ関連商品中心の品揃えから、オートバックス店舗と同様に、タイヤ・ホイール、カーエレクトロニクスなどを中心に、様々なお客様のニーズにおこたえできる商品構成へと変更します。



シンガポール

「AUTOBACS LOYANG (ロイヤン) STORE」オープン

シンガポール3号店であり、シェア拡大を推進する小型店舗です。オートバックス店舗の基本の品揃えであるオイルなどのメンテナンス系商品、カーエレクトロニクス商品、車内外アクセサリなどをご用意するとともに、シンガポール国内で人気の高い日本製カーアクセサリや洗車用品、モータースポーツ商品を充実させ、他店との差別化を図っています。また、タイヤはシンガポール国内トップシェアであるミシュラン、ブリヂストンをはじめ、ピレリ、ヨコハマ、ダンロップ、ゲルツティーなどを幅広く品揃えし、お客様の様々なニーズに対応します。



～板金・塗装もオートバックスへ!～ オートバックス全店で板金取扱い開始

全店で板金・塗装作業を行うことがお客様の利便性を高めると考え、店舗内で高度な板金・塗装作業を実施できる一部の店舗に加え、独自の受け付け・見積もりシステム「オートバックスイックリペア」の導入を推進するとともに、一部の店舗では提携工場に見積もりや作業を依頼することにより、全店で板金・塗装サービスの提供を可能にしました。



この一年に発売されたプライベートブランド商品

オートバックスグループ専売モデル
Panasonic製SSDポータブルカーナビゲーション「CN-GPA600FVD」



“AUTOBACS PRO”シリーズ
ホイールカバー5種
～上質感のあるデザインと
車検対応の両立を実現～



“AUTOBACS PRO”シリーズ
ウェットシート4アイテム



プライベートブランドアルミホイール
「SX-V3」



オートバックスグループ専売モデル
KENWOOD製
「6.1インチ液晶付マルチメディア
オーディオプレイヤー DDX318」





タイヤ特化型態「オートバックスタイヤ専門館」オープン

通常のオートバックス店舗より小型の売場で、タイヤやホイールを中心に、オイル、バッテリーなどといった定期的な交換が必要なメンテナンス商品群の品揃えに特化した「オートバックスタイヤ専門館」をオープンしました。単独の「オートバックスタイヤ専門館」としてオープンする初の店舗です。今までオートバックス店舗がなかったエリアにタイヤやメンテナンス商品に特化した店舗を出店することで、地域のお客様に近づき、今まで以上の利便性を提供していきます。

オートバックスセブン豊洲本社 ISO14001 認証を取得

豊洲本社において2012年2月22日付けで環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001認証を取得しました。これまで、エネルギー使用量やCO₂排出量の削減、省資源への取り組み、リサイクル・リユースへの取り組みなど環境負荷低減に向けた事業運営を行ってまいりましたが、より効率的で実効性の高い活動を推進するため、2011年度より環境マネジメントシステムを構築し、認証の取得に向けて活動を行ってまいりました。今後も順次、物流センターや地方拠点などにおいても環境マネジメントシステムを拡大し、より一層環境に配慮した活動を行ってまいります。

11

12

2012

1

2

3

「車検コンタクトセンター」を本格展開 車検時のお客様の利便性向上を目指す

「車検コンタクトセンター」とは、お客様からの車検に関するお問い合わせやご相談の窓口、また、車検の予約窓口としてお客様の入庫までのフォローを行うコールセンターです。同センターは、「車検について相談したいが、どこに、どのように相談すればいいかわからない」「店舗に行って相談・予約したいが、店舗に行く時間が作れない」というお客様のご不便を解消するために設置します。

売場改革全店舗完了 お客様視点で「分かりやすく、選びやすい」 売場への改革

「オートバックス 2010 中期経営計画」内の重要課題の一つで、「店舗収益向上策」の一環である、既存オートバックス店舗の「売場改革」が、2012年3月28日をもって全店舗完了しました。改装後は、多数のお客様より「分かりやすい」「選びやすい」との声をいただいています。また、売上高、粗利益高、買い上げ客数において、成果を上げることができました。

小商圈型店舗を含む8店舗オープン

2012年3月期の事業年度において、23店舗の新規出店を実施しました。

東日本大震災の被害状況と復旧の経緯(2011年)

1. 地震及び津波発生後(3月11日)

東北地方及び関東地方の59店舗・事業所などにおいて商品などの落下や建物への被害が発生し、営業を停止(一部営業停止を含む)しました。また、物流センターの一つである「東日本ロジスティクスセンター」(千葉県市川市)において被害が発生し、物流機能及び配送業務を停止しました。全国店舗への配送は西日本ロジスティクスセンターから行いました。



2. 被災地への支援を実施(3月14日)

日本赤十字社を通して1億円の支援金を拠出しました。さらに、全国のオートバックスグループ約500店舗にて募金活動を実施したほか、自動車用携帯電話用充電器約39,000個、インバーター5,000個の支援物資を提供。このほか、オートバックスグループ各店舗にて屋外サインポールの消灯など節電対策を実施しました。

3. 一部店舗を除き営業再開(3月31日)

復旧作業が進み、津波の被害及び福島第一原子力発電所の事故の影響で営業を停止している3店舗以外の店舗において営業を再開しました。

4. 東日本ロジスティクスセンターが再稼働(5月2日)

東日本ロジスティクスセンターの復旧が完了し、再稼働を開始しました。営業停止の店舗は「オートバックス石巻店」「オートバックス多賀城店」のみとなりました。

5. 被災店舗が営業再開(8月5日、8月15日)

8月5日に「オートバックス石巻店」、8月15日に「オートバックス多賀城店」が営業を再開しました。



“AUTOBACS PRO”シリーズ
「万能ペーパータオル」



プライベートブランドアルミホイール
「レーベンTS7」



オートバックスグループ専売
アルミホイール
OZ X-Lineシリーズ
「Milano(ミラノ)」

